

研究課題名	「老年期認知障害患者の行動・心理症状と神経画像の関連」について —大阪市立大学医学部附属病院、大阪市立弘済院附属病院による多施設参加臨床研究—
研究の意義・目的	この臨床試験では物忘れの原因を調べるための問診、検査（神経心理テスト、血液検査、MRIなどの神経画像検査）を行います。あなたがこれからうけられる神経画像検査の結果をコンピュータで解析した後に、行動・心理症状に関するデータと神経画像の関連性について調査します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2006年4月1日～2025年3月31日の期間大阪市立大学医学部附属病院神経精神科において臨床上、認知障害を有する軽度認知障害もしくは認知症の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、診断名、病歴、入院日、既往歴、検査データ、神経心理テストの結果、MRIなどの画像検査】
試料・情報の他機関への提供	共同研究機関の大阪市立弘済院附属病院神経内科・精神科から情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院神経精神科と大阪市立弘済院附属病院神経内科・精神科の共同で行います。 共同研究機関、研究責任者：大阪市立弘済院附属病院 副病院長 中西 亜紀
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 講師 内田 健太郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 講師 内田 健太郎 電話番号：06-6645-2121 メールアドレス：uchida.kentaro@med.osaka-cu.ac.jp